

1 一般会計

(1) 議会費

事業名等	事業費	内容と成果
1 市議会だより発行（カラー化） (議会事務局)	3,268,685 円	市議会だよりの紙面を2色刷りから4色刷り（カラー）に変更し、より見やすく、分かりやすい紙面として情報を提供した。 ・原稿作成委託料 777,600 円 ・印刷製本費 953,472 円 ・配布委託料 1,537,613 円

(2) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 もくせい会館建設事業 (契約管財課)	4,424,075 円	もくせい会館（商工会館）の老朽化に伴う改良事業を予定していたが、住民参加支援事業や商工業事業の拠点としてより有効的な活用について、市、商工会及び防衛省で協議を行い再検討した結果、施設の改良事業から建設（解体・新築）事業に変更した。 平成26年度においては、基本設計委託及び不動産鑑定委託を行った。
2 公用車購入 (契約管財課)	3,495,570 円	購入から15年以上経過した公用車を、安全性の向上と環境基準に則した対応車に買換えを行った。 ・軽ワンボックスワゴン 3台
3 電動アシスト自転車購入 (契約管財課)	242,999 円	市内訪問業務等の増加及び環境面における自転車利用の促進のため電動アシスト自転車3台を購入した。
4 職員採用試験委託 (職員課)	505,440 円	人物の基本的な資質を測るため、新たに職員採用試験の一次試験合格者に対して適性検査を実施し、その検査結果を面接試験の資料とした。 ・職員採用試験委託料 209,952 円 ・適性検査委託料 295,488 円
5 労働安全衛生・メンタルヘルス事業 (職員課)	2,095,800 円	メンタルヘルスに関する相談及び対応件数の増加に対応し、職員の健康管理及び労働安全衛生の更なる確保を図るため、産業医による支援に加え、専門業者によるカウンセリング、職場復帰支援等を実施した。 ・委託業者への相談人数及び件数 延べ相談人数 16人 延べ相談件数 71件 ・産業医報酬 762,000 円 ・相談委託料 1,333,800 円
6 市勢要覧作成委託 (秘書広報課)	1,101,600 円	市の概要や特徴を紹介する資料として作成し、視察等の資料として利用するとともに、希望者には有料で頒布する。 ・作成部数 A4判 1,800部
7 わたしの便利帳 (秘書広報課)	0 円	民間企業との協働により、生活に必要な行政情報の周知をNTTタウンページ福生市版に「ふっさ わたしの生活便利帳」として掲載した。 ・作成部数 A4判 44,800部

事業名等	事業費	内容と成果
8 まちの魅力発信事業支援委託 (秘書広報課)	9,838,800円	福生市の魅力(地域資源)の確実な伝達と理解の獲得を目的として、広報(PＲ)の活動を実施した。 ・市民向け情報誌「福生ライフ」(年2回発行)の全戸配布 ・市の魅力をメディアに印象付ける活動としてプレスツアーの実施 ・プレスリリースの企画、製作及び配布
9 固定資産台帳整備支援委託 (財政課)	7,333,200円	新公会計制度の導入及び公共施設等総合管理計画の策定に必要な基礎資料として、市が所有する資産を総合的に把握するための固定資産台帳整備を実施した。
10 新公会計関連システム導入等委託 (財政課)	—	平成26年度は、債務負担行為補正を行い、新公会計制度の導入に当たり、現行の財務会計システムを更新し日々仕訳・複式簿記に対応するとともに、新たに固定資産台帳管理システム、新公会計システム等を導入し、各システム間の連携を図るためのシステム導入に着手した。 ・履行期間 平成27年3月10日から平成28年3月31日まで ・契約金額 120,126,024円
11 福生市行政改革大綱(第6次)策定事業 (企画調整課)	0円 (内部印刷)	行政改革を一層推進するため、「変化に対応できる行財政運営」を基本理念とし、平成27年度から平成31年度までを計画期間とする福生市行政改革大綱(第6次)を策定した。 ・作成部数 A4判 150部
12 総合計画策定支援委託 (企画調整課)	6,447,600円	前期基本計画の進捗評価並びに社会情勢の変化、人口減少問題等の現状及び課題の整理を行い、今後、福生市が重点的に取り組むべき施策及び方向性を明確にするため、平成27年度から平成31年度までを計画期間とする福生市総合計画(第4期)修正後期基本計画を策定した。 ・作成部数 A4判 500部
13 住民情報システム改良委託 (情報システム課)	17,110,000円	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の施行により、「社会保障・税番号(マイナンバー)制度」が実施される。これに対応するため、住民基本台帳システム、地方税務システム及び団体内統合宛名システムの改良を行った。
14 福生駅東口地下自転車駐車場防犯カメラ入替え (安全安心まちづくり課)	15,839円	既存の防犯カメラが経年劣化により画像が見えづらい状態であったため、リースで入替えを行った。 ・借上台数 カメラ8台、ハードディスクレコーダー1台、液晶モニター1台 ・借上料 15,839円 (平成27年3月1日から平成27年3月31日まで) ※借上料(60か月)総額 950,400円 ※借上期間 平成27年3月1日から平成32年2月29日まで
15 町会・自治会貸与備品購入 (協働推進課)	2,463,177円	町会・自治会活動で利用可能な放送設備を配備し、活動環境を充実させることによって、活動への参加を促進し、地域住民同士の結束力や連帯感を高め、コミュニティ活動の活性化を図った。 ・ワイヤレスアンプ 34台 ・ワイヤレスマイクロホン 34本
16 幼稚園就園奨励費補助金 (子ども育成課)	48,865,800円	私立幼稚園等に在籍する園児の保護者の経済的負担を軽減するため、保護者の所得状況に応じた補助金を交付し、もって幼稚園教育の振興を図った。なお、平成26年度より第2子以降の世帯について所得制限を撤廃した。

事業名等	事業費	内容と成果
17 私立幼稚園心身障害児 教育事業費補助金 (子ども育成課)	960,000 円	心身障害児の在園する市内の私立幼稚園の設置者に対して補助金を交付することにより、心身障害児の就園並びに心身障害児教育の振興及び充実を図った。
18 男女共同参画行動計画 策定支援委託 (協働推進課)	1,528,200 円	平成28年度から平成32年度までを計画期間とする新たな福生市男女共同参画行動計画を平成26年度及び平成27年度で策定するため、現行計画の検証、市民への意識調査、審議会の運営管理等、計画の策定に関する支援を委託した。 ・平成26年12月から平成27年1月まで 市民意識調査実施 ・平成27年2月 調査報告書作成
19 福生市農業委員会委員 選挙執行 (選挙管理委員会事務局)	109,696 円	平成26年7月19日任期満了に伴う福生市農業委員会委員選挙を執行した。 ・告示日 平成26年6月29日(日) ・投票日 平成26年7月6日(日) 立候補者が委員定数を超えず無投票となった。
20 衆議院議員選挙執行 (選挙管理委員会事務局)	19,467,128 円	平成26年11月21日解散に伴う衆議院議員選挙を執行した。 ・公示日 平成26年12月2日(火) ・投票日 平成26年12月14日(日) ・当日有権者数 47,086人 ・小選挙区選出 投票者数及び投票率 24,388人 51.79% ・比例代表選出 投票者数及び投票率 24,386人 51.79% ・総事業費 19,467,128円

(3) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 成年後見センター福生 運営委託(成年後見制 度利用促進事業及び福 祉サービス総合支援事 業) (社会福祉課)	10,005,943 円	福生市社会福祉協議会に運営を委託している成年後見センター福生に、精神科医、司法書士、社会福祉士及び精神保健福祉士で構成される事例検討会を設置し、被後見人の身体的、精神的及び環境的条件から、後見人種別の検討を行った。 ・第1回事例検討会 平成26年4月11日開催
2 福祉バス運行事業 (介護福祉課)	26,840,520 円	福祉バスの運行について路線の一部変更、バス停の移設等を行い、遅延の解消及び安全性の確保を図った。 ・運行委託料 22,317,120円 ・事務委託料 2,493,000円 (うち 路線等変更に関する事務委託料 1,736,775円) ・停留所移設工事 2,030,400円

事業名等	事業費	内容と成果
3 臨時福祉給付金給付事業 (社会福祉課)	141,349,649 円	消費税の引上げにより低所得者に与える負担を軽減するため、市民税均等割を課税されていない者を対象として暫定的及び臨時的な給付措置を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人当たり支給額 10,000 円 (加算対象者に対する加算額 5,000 円) ・ 通知発送数 12,875 通 ・ 申請者数 9,970 人 ・ 支給決定者数 9,815 人 (うち、加算対象者数 4,627 人) ・ 給付費 121,285,000 円 ・ 事務費 20,064,649 円
4 特殊疾病患者福祉手当 (障害福祉課)	25,686,000 円	国が指定する特殊疾病数の増加に伴い、特殊疾病患者福祉手当を増額した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病数の増加に伴う新規申請者数 0 人 ・ 支給者数 1,116 人 支給総額 25,686,000 円
5 福生市中等度難聴児発達支援事業 (障害福祉課)	49,896 円	両耳の聴力が 30 dB 以上であり、身体障害者手帳交付の対象とならない 18 歳未満の児童が補聴器の装用により、言語の習得など一定の効果が期待できる場合、購入費の一部の補助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助実績 1 件 49,896 円
6 国民年金だより発行 (保険年金課)	343,032 円	国民年金制度の内容を市民に広く周知するために国民年金に特化した広報紙「国民年金だより」を作成し、市内全戸配布を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷製本費 150,984 円 ・ 配布委託料 192,048 円
7 病児保育施設整備費補助事業 (子ども育成課)	15,156,000 円	保護者の子育て及び就労の両立を支援するため、平成 27 年 4 月に開設する病児保育施設を市内に整備した事業者に対し、経費の補助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設面積 63.02 m² (保育室、隔離室、事務室、調乳室、便所等)
8 子育て世帯臨時特例給付金給付事業 (子育て支援課)	56,724,262 円	消費税の引上げにより子育て世帯に与える負担を軽減するとともに子育て世帯の消費の下支えを図るため、臨時的な給付措置を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 支給対象者 平成 26 年 1 月分の児童手当の受給者で、その前年の所得が児童手当の所得制限額に満たない者 ・ 支給対象児童 支給対象者の平成 26 年 1 月分の児童手当の対象となる児童 (臨時福祉給付金の対象者、生活保護の被保護者等は除く。) ・ 支給決定者数 3,247 人 ・ 支給対象児童 5,181 人 ・ 支給金額 支給対象児童 1 人につき 10,000 円
9 保育士等処遇改善臨時特例事業 (子ども育成課)	28,755,000 円	平成 25 年度に引き続き、保育士の人材確保対策を促進する一環として、私立保育所に対し、保育士等の処遇改善に要する費用を市 1/8、都 1/8、国 3/4 の負担で交付し、職員の定着を図るなど、保育の充実に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象 市内私立認可保育所に勤務する保育士、調理員、用務員、事務員等 ・ 交付先 市内私立認可保育所 13 園

事業名等	事業費	内容と成果
10 保育従事職員等処遇改善事業 (子ども育成課)	1,872,000 円	平成 25 年度に引き続き、保育士の人材確保対策を促進する一環として、認証保育所に対し、保育従事職員等の処遇改善に要する費用を東京都の「保育従事職員等処遇改善事業」を活用し、職員の定着を図るなど、保育の充実に努めた。 ・対象 市内認証保育所に勤務する保育士、調理員等 ・交付先 市内認証保育所 2 園

(4) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 犬の登録管理システム更新 (健康課)	247,860 円	犬の登録管理業務を円滑に実施するため、犬の登録管理システム及び機器の更新を行った。 ・畜犬登録管理システム機器借上 (60 月契約) プログラム使用料 198,288 円 電算機借上料 49,572 円 (平成 26 年 6 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで分)
2 福生病院組合建設費負担金 (健康課)	214,214,000 円	福生市、羽村市及び瑞穂町で運営する公立福生病院の建て替えのための建設費を、負担割合に応じて負担金として支出し、安全で安心な医療サービスの充実に努めた。
3 水痘ワクチン接種委託 (健康課)	7,848,289 円	平成 26 年 10 月から定期予防接種化したことに伴い、生後 12 月から 36 月未満の者に対して、水痘ワクチンの予防接種を実施した。なお、平成 26 年度に限り、経過措置として、生後 36 月から 60 月未満の者も予防接種の対象とした。 ・接種回数 12 月から 36 月未満 2 回 (任意接種も接種回数に含む。) 36 月から 60 月未満 1 回 (任意接種も接種回数に含む。) ・接種人数 836 人 (延べ数) ・消耗品費 3,688,284 円 ・印刷製本費 46,656 円 ・通信運搬費 87,984 円 ・予防接種委託料 4,025,365 円
4 高齢者肺炎球菌予防接種委託 (健康課)	5,765,988 円	平成 26 年 10 月から定期予防接種化したことに伴い、平成 26 年度中に 65、70、75、80、85、90、95、100 歳及び 100 歳以上で今までに肺炎球菌のワクチン (ニューモバックス) を接種したことがない人に対し実施した。 ・接種人数 1,275 人 ・印刷製本費 75,168 円 ・通信運搬費 250,328 円 ・予防接種委託料 5,440,492 円
5 ふっさ環境フェスティバル (環境課)	1,500,000 円	会場設営の全面委託及びイベントの拡充を図り実施した。 ・日時 平成 26 年 6 月 1 日 (日) 午前 10 時から午後 3 時まで ・場所 多摩川中央公園 げんき広場 ・出展団体 43 団体 ・来場者 4,500 人

事業名等	事業費	内容と成果
6 環境基本計画等改定委託 (環境課)	3,192,264円	2か年をかけて第2期中期実施計画等の策定を行うため、平成26年度は「環境に関する市民意識調査」を実施し、市民会議による「福生市環境基本計画第2期中期実施計画に向けた市民提言」を作成した。
7 環境保全フォーラム (環境課)	1,800,235円	財団法人自治総合センターの助成金を活用し、子どもを対象とした環境学習の普及及び啓発のための環境保全フォーラムを行った。 ・日時 平成26年8月21日(木)午後2時から3時45分まで ・場所 福生第一小学校体育館 ・講師 さかなクン(東京海洋大学客員准教授) ・テーマ ギョギョッとびっくり環境保全 ・参加者 400人
8 自動車騒音調査委託 (環境課)	900,000円	騒音規制法第17条に基づく交通量、騒音及び振動調査を専門業者へ委託して実施した。
9 まちなかおもてなし事業(サイクルシェアリング事業分) (シティセールス推進課・環境課)	11,474,661円	実証実験を踏まえ、平成26年度からサイクルシェアリング事業として実施した。サイクルシェアリングのステーションの名称を「たっけー☆☆サイクルポート」に改め、更なる利便性の向上を図るため、牛浜駅東口自転車駐車場内から牛浜駅東口駅舎下へのステーションの移設及び福祉センター駐車場内にステーションの増設を行った。
10 環境公害パトロール車購入 (環境課)	1,165,190円	環境公害パトロール車を活用して迅速に苦情処理に対応し、公害の把握及び防止に努めた。
11 保健センター内機械室区画工事 (健康課)	1,595,160円	保健センター機械室内の屋内消火栓設備について、防火区画の工事を実施し、安全性の高い適切な施設管理を図った。 ・機械室防火区画設置工事 1,296,000円 ・機械室内メッシュフェンス等撤去工事 299,160円
12 保健センター内給湯設備取替工事 (健康課)	1,296,000円	保健センター火気使用室(1階給湯室、休日調剤室及び2階給湯室)の換気風量が不足していたため、給湯設備について必要換気量値の低いIHコンロ及び屋外ガス給湯への取替工事を実施し、安全性の高い適切な施設管理を図った。 ・工事費 1,296,000円
13 会議用椅子等購入 (健康課)	1,296,000円	旧福生保健所から使用している会議用椅子及びロビーチェアへの老朽化に伴い買換えを行った。 ・会議用椅子 50脚 ・チェアポーター 2台 ・ロビーチェア(背なし) 8台 ・ロビーチェア(背あり) 8台
14 清潔で美しいまちづくり事業 (環境課)	5,208,279円	路上禁煙区域の設置(市内7か所)に伴い、清潔で美しいまちづくりマナーアップ指導員による喫煙所の清掃及び指導のほか、各種イベントでの周知活動を行った。
15 ごみ分別一覧等作成 (環境課)	2,196,562円	ごみの収集体制変更により、ごみ分別一覧を改訂し、全戸配布を行った。また、ごみ分別の手引き外国語版(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語及びタイ語)を改訂し、窓口に配置した。

(5) 農 林 水 産 業 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 都市農業経営パワーアップ事業 (シティセールス推進課)	3,741,000 円	安全安心で新鮮な野菜の供給及び経営力向上を図るため、営農意欲が高い農業者に対し経営の助言及び農業施設の整備補助を行った。 ・対象農家 1 戸 (認定農業者) ・施設整備事業内容 パイプハウス (208 m ² ×2 棟) 暖房機 (1 台) (都市農業経営パワーアップ事業補助金を活用)
2 雪害被災農業者支援事業 (シティセールス推進課)	1,934,474 円	平成 26 年 2 月 8 日及び同月 14 日の大雪により倒壊したビニールハウス等の農業施設の撤去及び再建のための緊急的な支援を実施した。 ・支援対象農家 6 件 ・施設撤去 延べ 512 m ² ・施設再建 延べ 686 m ² (修繕含む。) (東京都被災農業者向け経営体育成支援事業費補助金を活用)

(6) 商 工 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 まちなかおもてなし事業 (おもてなし事業分) (シティセールス推進課・環境課)	7,055,460 円	福生市観光案内所「まちなかおもてなしステーション くるみるふっさ」において、主に次の事業を実施し、多種多様な福生市の魅力を発信した。 ・観光ガイドツアー等を 13 回実施し、毎回異なるテーマを設けて市内各スポットを巡った (参加者延べ 218 人)。 ・観光案内所において、来所者に対する観光案内、福生市及び友好交流都市 (登別市及び守山市) 製品の紹介、宣伝及び販売等を行った。 ・各種市内外イベントに観光案内所として参加し、福生市の魅力をアピールした。
2 ベースサイドストリート観光事業委託 (シティセールス推進課)	2,588,000 円	国道 16 号沿いの横田基地前商店街 (ベースサイドストリートエリア) における情報発信や観光案内を福生武蔵野商店街振興組合への委託により実施した。 ・福生アメリカンハウス開所日数 85 日 ・来場者数 5,189 人
3 福生市商工会事業費補助金 (住まいの省エネ・バリアフリー住宅改修等工事費助成事業分) (シティセールス推進課)	479,000 円	商工会が実施する省エネ及びバリアフリー住宅の改修工事費助成事業に対し補助を行った。 ・助成実績 8 件 (市内登録業者が実施する工事費の 10%、限度額 10 万円分を助成)
4 新・元気を出せ商店街事業費補助金 (シティセールス推進課)	9,174,000 円	商店街の振興を図り、中小商業の経営の安定と発展及び地域経済の活性化に寄与するため、商店街が行うイベント事業、活性化事業に対して補助金を交付した。 ・イベント事業 12 事業 ・活性化事業 3 事業 (東京都新・元気を出せ商店街事業費補助金を活用)

事業名等	事業費	内容と成果
5 中小企業振興資金管理システム (シティセールス推進課)	1,532,757 円	平成 18 年度に導入した「中小企業振興資金融資制度」及び「小口零細企業資金融資制度」の融資管理システムについて、機器等の老朽化に伴う更新を実施した。
6 消費者啓発事業委託 (シティセールス推進課)	26,507,115 円	<p>・悪質商法・振り込め詐欺ゼロキャンペーン委託事業 事前研修を受けた訪問スタッフ 13 人が二人一組で、福生市内の全高齢者世帯(10,206 世帯)を対象に訪問を実施し、パンフレットやグッズ、悪質商法及び振り込め詐欺のデモ音声(ＩＣレコーダーを使用)を聞かせて悪質商法及び振り込め詐欺未然防止の啓発を行った。 (期間 平成 26 年 9 月 30 日から平成 27 年 2 月 25 日まで)</p> <p>・悪質商法退治はたっけー☆☆にお任せ！大作戦委託事業 人の多く集まる市内及び近隣市のイベント等に参加し、市の公式キャラクターである「たっけー☆☆」と付添スタッフ及び統括が消費者啓発用グッズ及びパンフレットの配布を行い、消費者啓発事業を実施した。(期間 平成 26 年 8 月 7 日から平成 27 年 3 月 29 日まで 45 日間) また、ＪＲ中央快速線区間(青梅線も含む)を走行する車両に「たっけー☆☆トレイン」と称し、消費者啓発ラッピングを施すことで、広域的な啓発を実施した。(期間 平成 26 年 10 月 27 日から 11 月 22 日まで) (消費者行政活性化交付金を活用)</p>

(7) 土木費

事業名等	事業費	内容と成果
1 ショベルローダー購入 (施設課)	4,655,440 円	<p>老朽化に伴う運転時の危険性を解消し、道路や公園の維持作業や台風、大雪時等災害時にも対応するためショベルローダーの買換えを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入代 4,644,000 円 ・自賠責保険 11,440 円
2 道路ストック点検委託事業 (施設課)	10,505,160 円	<p>市道の舗装路面の状態を把握し、舗装に関する維持管理を計画的及び効率的に行うために必要な情報を得ることを目的に路面性状調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路ストック点検委託料 10,505,160 円
3 市道幹線Ⅱ-14 号線 (五丁橋通り)改良事業 (施設課)	17,299,440 円	<p>歩行者の通行の安全に配慮するため、カラー舗装などの安全対策工事及び舗装打替工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装打替工事 1,413 ㎡ ・カラー舗装工事 232 ㎡ ・工事請負費 17,299,440 円
4 市道田園 12 号線改良事業 (施設課)	18,338,400 円	<p>歩行者の通行の安全に配慮するため、歩道の拡幅工事及び老朽化した車道の舗装打替工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道舗装工事 129 ㎡ ・車道舗装工事 744 ㎡ ・工事請負費 18,338,400 円
5 市道幹線Ⅱ-10 号線 (銀座通り)改良事業 (施設課)	8,777,160 円	<p>車道のインターロッキングブロック舗装の凸凹や破損を改修するため、新規材料による張替工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターロッキングブロック舗装工 239 ㎡ ・工事請負費 8,777,160 円

事業名等	事業費	内容と成果
6 市道第 1160 号線改良 事業（宿橋通り） (施設課)	58,891,377 円	電線類を地中化し、景観に配慮した安全で安心な歩車共存の道路として整備するため、東京電力、NTTに引込・連系管設置工事等を委託するとともに、景観に配慮したインターロッキングブロック舗装等の改良工事を実施した。 ・延長 303.9m 幅員 6.5m ・インターロッキングブロック舗装工 738 m ² ・車道舗装工事 447 m ² ・工事委託料（引込・連系管設置工事委託） 28,936,497 円 ・工事請負費 29,090,880 円 ・監理委託料 864,000 円
7 市道第 1259 号線改良 事業（福生駅自由通路） (施設課)	59,286,600 円	福生駅自由通路は完成後 27 年が経過し、老朽化により雨漏りが発生したため、天井材の張替、屋上防水及び雨どい等の改良工事を実施した。 ・工事請負費 58,266,000 円 ・監理委託料 1,020,600 円
8 道路照明灯 LED 化事業 (施設課)	95,300,280 円	平成 25 年度に引き続き、既存の道路照明灯 447 灯の LED 化を実施した。LED 化することにより、CO ₂ 排出量の削減及び電気料金の削減を図った。平成 25・26 年度の 2 か年で全ての道路照明灯の LED 化が完了した。また、既設の照明灯柱 439 基の塗装を行い、延命化を図った。 ・工事請負費 95,300,280 円
9 熊川分水保全事業 (まちづくり計画課)	248,400 円	将来にわたり熊川分水の保全を目的とした維持管理を行うため、土地の所有者から無償使用について承諾を受けた部分について、当該土地の測量等を実施した。 ・土地測量委託料 248,400 円
10 市道幹線Ⅱ-19 号線外 1 改良事業 (施設課)	53,470,000 円	歩道拡幅及び舗装打替等の改良工事を平成 24 年度より実施し、平成 26 年度は第 3 工区として、幹線Ⅱ-19 号線終点付近から幹線Ⅱ-2 号線の一部までの改良工事を平成 26 年度及び平成 27 年度の債務負担行為により実施した。 ・延長 380m 幅員 16.0m ・排水施設工、街築工、舗装工、交通安全施設工 一式 全体工事費 131,220,000 円 平成 26 年度分 52,400,000 円 平成 27 年度分 78,820,000 円 全体監理委託料 2,651,400 円 平成 26 年度分 1,070,000 円 平成 27 年度分 1,581,400 円 ・工事請負費 52,400,000 円 ・監理委託料 1,070,000 円
11 用途地域変更業務委託 (まちづくり計画課)	2,160,000 円	福生市災害時対応施設整備基本計画に基づく防災食育センター建設予定地について、地区計画を策定し、用途地域を第一種低層住居専用地域から防災食育センターの建設が可能な準工業地域へ変更するため、地区計画策定、用途地域変更等のための資料作成、住民説明会の開催支援等の業務について委託した。
12 都市計画区域変更業務 委託 (まちづくり計画課)	1,890,000 円	福生市災害時対応施設整備基本計画に基づく防災食育センター建設に伴い、建設予定地の一部について福生市と昭島市との間で行政界変更を行うことになったため、都市計画区域の変更手続のために必要な資料作成等の業務について委託した。

事業名等	事業費	内容と成果
13 ファミリー世帯向け住宅建替促進のための既存住宅除却費助成事業 (まちづくり計画課)	693,000円	空き家住宅の所有者に対し、住宅を除却後に同地においてファミリー世帯向けの住宅建築又は宅地分譲を行う際の除却に係る費用の一部を助成することで、市内における良質なファミリー世帯向け住宅の供給の誘導及び老朽化した空き家住宅の除却の促進を図るとともに、定住化及び安全で安心なまちづくりを推進した。 ・住宅除却費助成金 1件 693,000円
14 福生公園遊具補修事業 (施設課)	5,958,360円	丸太吊り橋、ロープ吊り橋、滑り台ローラー等、老朽化している部品を交換することにより、利用者の安全を確保した。
15 日光橋公園遊具復旧事業 (施設課)	13,630,680円	日光橋公園の大型複合遊具が火災により損傷したため、部品の交換、塗装等の復旧を行った。また、防犯カメラを設置するための電源設置工事を行った。このことにより、利用者の安全の確保並びに犯罪の抑制及び防止効果を図った。 ・遊具復旧工事 11,924,280円 ・電源設置工事 1,706,400円
16 玉川上水緑地日光橋公園等整備事業 (施設課)	41,027,780円	玉川上水沿いの遊歩道の土留めが老朽化し、危険であるため、土留めの取替工事を行った。 ・土留擁壁工 435m ・ダスト舗装 709㎡ ・工事請負費 39,938,400円 ・監理委託料 1,060,560円 ・その他 28,820円
17 市営住宅管理システム更新事業 (まちづくり計画課)	1,109,376円	市営住宅の入居者管理、家賃管理等の業務に使用するシステムについて、電算機のサポートが終了するため更新し、事務の効率化を図った。 ・借上契約期間 平成26年10月1日から平成31年9月30日まで(5年長期継続契約) ・手数料(機器処分) 97,200円 ・据付調整等委託料 97,200円 ・電算機借上料 86,832円(5年間総額 868,320円) ・プログラム使用料 705,024円(5年間総額 7,050,240円) ・システム保守委託料(従前システム・6か月分) 123,120円
18 第二市営住宅屋上防水改良事業 (まちづくり計画課)	16,308,000円	長寿命化を図るため、第二市営住宅1・2・3・4号棟(72戸)について、屋上防水工事を実施した。 ・設計委託料 756,000円 ・監理委託料 648,000円 ・工事請負費 14,904,000円

(8) 消 防 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 消防団制服等更新事業 (安全安心まちづくり課)	2,099,520円	消防団員の雨合羽の更新を行い、水防活動時の安全確保を図った。 ・雨合羽 193着
2 消防団救助用工具購入 (安全安心まちづくり課)	3,650,400円	消防団員の災害現場での活動を想定し消防団に配備した。 ・チェーンソー 4台 ・油圧式ジャッキ 9台 ・背負式救助資機材セット 18組 ・パタット担架 4枚 ・携帯用コンクリート破壊器具ストライカー 10台 (携帯用コンクリート破壊器具ストライカーについては、市町村消防団資機材整備費補助金を活用)

事業名等	事業費	内容と成果
3 消防無線受令機購入 (安全安心まちづくり課)	1,890,000 円	平成28年5月31日をもって現在使用しているアナログ波が停止するため、消防団活動の機能維持・向上を図るため、消防救急デジタル無線受令機を一部配備した。 なお、未更新の部分については、平成27年度にて配備する。 ・消防救急デジタル無線受令機（本庁舎用） 2台 945,000 円 ・消防救急デジタル無線受令機（車載用） 7台 945,000 円 （平成26年度区市町村防災関連通信整備費補助金を活用）
4 消防ポンプ自動車更新事業 (安全安心まちづくり課)	40,033,772 円	老朽化及び排出ガス規制により使用できなくなる消防ポンプ自動車を、新たな自動車運転免許制度に対応可能な小型車両に更新した。 ・車両型式 いすゞ CD-I 型 ・配車分団 第三分団、第五分団
5 消防団車庫改良事業 (安全安心まちづくり課)	5,523,723 円	災害時の活動拠点となる消防団車庫、火の見やぐら等の塗装工事及び屋上防水工事並びに平成27年度の工事实施に向けた実施設計を行った。 ・実施分団 第四分団（平成27年度工事用実施設計） 第五分団（工事） ・消耗品費等 15,723 円 ・設計委託料 669,600 円 ・監理委託料 540,000 円 ・工事請負費 4,298,400 円
6 帰宅困難者用食料の購入 (安全安心まちづくり課)	797,688 円	一時滞在施設となる市民会館への帰宅困難者 1,200 人分の食料を購入し、備蓄を行った。 ・クラッカー（3,640 食） 648,648 円 ・水（500ml ペットボトル 1,200 本） 149,040 円
7 全国瞬時警報システム装置改良委託 (安全安心まちづくり課)	1,458,000 円	Jアラートでの特別警報の自動起動・無線放送に対応するための改修を行った。 ・全国瞬時警報システム装置改良委託料 1,458,000円
8 災害用医療セット保守委託 (安全安心まちづくり課)	95,040 円	市で保有する医療セットについて、期限切れ薬品の入替え、器具の滅菌等を委託し、災害時における応急処置の円滑な実施を図った。 ・災害用医療セット保守委託料 95,040円
9 災害時対応施設整備事業 (安全安心まちづくり課・学校給食課)	28,709,175 円	避難所機能、備蓄機能、応急給食機能（平常時は学校給食を実施）等の防災機能を併せ持つ防災食育センター（災害時対応施設）の整備を行う。 平成26年度は、基本計画の策定及び基本設計を行い、施設整備の基本方針、中学校完全給食の実施等について多角的な検討を行うとともに、建設予定地において測量業務等を実施した。 また、工事開始時期が1年前倒しとなったため、債務負担行為補正を行い、平成27年度10月末までを委託期間とする実施設計業務に着手した。 ・災害時対応施設整備基本計画策定支援委託 契約額 5,292,000 円 契約期間 平成25年11月28日から平成26年6月30日まで ※平成25年度債務負担行為補正

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>施設整備の基本方針や中学校給食の実施等について、福生市学校給食センター運営審議会等での意見を参考に検討を行った。また、計画の素案内容について市民説明会及びパブリックコメントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福東地域災害時対応施設土地測量委託 契約額 2,592,000 円 契約期間 平成 26 年 5 月 23 日から平成 26 年 8 月 22 日まで ・福東地域災害時対応施設樹木調査委託 契約額 945,000 円 契約期間 平成 26 年 5 月 23 日から平成 26 年 7 月 31 日まで ・福東地域災害時対応施設整備工事基本設計委託 契約額 12,960,000 円 契約期間 平成 26 年 7 月 2 日から平成 27 年 1 月 30 日まで ・福東地域災害時対応施設土地測量委託（その 2） 契約額 3,596,400 円 契約期間 平成 26 年 7 月 11 日から平成 26 年 9 月 30 日まで ・福東地域災害時対応施設自然環境調査委託 契約額 2,095,200 円 契約期間 平成 26 年 9 月 19 日から平成 27 年 1 月 16 日まで ・災害時対応施設土地登記申請に伴う境界標設置委託 契約額 622,080 円 契約期間 平成 26 年 12 月 18 日から平成 27 年 1 月 9 日まで ・事務費等 606,495 円 <p>※補正予算（第 4 号）にて債務負担行為を設定し、実施設計委託契約を締結した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災食育センター整備工事実施設計委託 契約額 42,120,000 円 契約期間 平成 27 年 2 月 25 日から平成 27 年 10 月 30 日まで

(9) 教育費

事業名等	事業費	内容と成果
1 教育広報事業 (庶務課)	1,492,860 円	<p>教育広報の紙面を 2 色刷りから 4 色刷り（カラー）に変更し、より見やすく、教育への興味を持って閲読しやすい紙面として情報を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 724,100 円 ・教育広報配布委託料 768,760 円
2 日本の伝統・文化理解 教育推進事業 (指導室)	253,266 円	<p>福生第三小学校、福生第四小学校及び福生第二中学校の 3 校において、日本の伝統や文化に関する教育の充実を図るため、各教科等において、太鼓、藍染め等の体験学習に地域の人材、教材等を活用し、各学校で伝統文化理解教育を推進した。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
3 安全教育推進校事業 (指導室)	199,938 円	福生第七小学校が、東京都教育委員会の指定を受け、東京都教育委員会が発行する「安全教育プログラム」を活用し、「自分の命を自分で守る児童」の育成を図るための年間指導計画に基づき、年間を通して安全教育を推進した。
4 小学校外国語活動アドバイザー活用事業 (指導室)	1,360,000 円	福生市立小学校全校が、東京都教育委員会の指定を受け、中学校英語科教員の経験者、英語に堪能な地域人材等を、「小学校外国語活動アドバイザー」として小学校全校に派遣し、小学校教員が単独で外国語活動の授業を円滑に実施できる指導力を身に付けるための取組を展開した。
5 学校連絡業務用電動自転車購入 (庶務課)	945,872 円	各小・中学校の用務職員が教育委員会との連絡業務の際の移動手段を、原動機付自転車から電動自転車に変更し、環境へ配慮し、教職員等の利用にも供するため、電動自転車を購入した。 ・電動自転車 10 台 945,872 円
6 小学校体育館非構造部材落下防止対策事業 (庶務課)	6,187,320 円	災害発生時における、児童の安全確保及び避難所としての機能確保のため、学校体育館の非構造部材である天井等の落下防止対策に関する実施設計を行った。 ・実施設計 福生第一小学校、福生第六小学校、福生第七小学校 設計委託料 6,187,320 円
7 中学校体育館非構造部材落下防止対策事業 (庶務課)	2,128,680 円	災害発生時における、生徒の安全確保及び避難所としての機能確保のため、学校体育館の非構造部材である天井等の落下防止対策に関する実施設計を行った。 ・実施設計 福生第一中学校 設計委託料 2,128,680 円
8 小中学校給食用設備整備改良事業 (学校給食課)	2,138,400 円	平成 29 年度に開設する防災食育センターの応急給食機能を活用し、市内小中学校の完全給食を実施するに当たり、受入れ側である各小中学校の配膳室等の整備を行う。 平成 26 年度は、福生第二中学校に給食配膳用昇降設備等を設置するための実施設計を行った。 ・件名 福生第二中学校給食用設備整備工事設計委託 ・工期 平成 26 年 11 月 21 日から平成 27 年 3 月 13 日まで ・契約金額 2,138,400 円
9 給食費管理システム等改良事業 (学校給食課)	819,207 円	給食費管理システム機器の更新を行い、学校給食費収納事務の迅速化及び効率化を図った。 ・システム電算機借上料 124,632 円 借上期間 平成 26 年 8 月 1 日から平成 31 年 7 月 31 日まで(5 年長期契約) ・システム保守委託料 162,000 円 ・システム改良委託料 532,575 円
10 文化財総合調査事業 (生涯学習推進課)	2,637,100 円	文化財総合調査を行った。通常の歴史調査、民俗調査等に加え、平成 26 年度から平成 28 年度までの 3 か年で古民家関係調査(建築物調査、文書調査及び民具調査)を行う。
11 市民会館リハーサル室等修繕 (公民館)	5,177,520 円	市民会館内の顕著な雨漏りがあり、施設の劣化を防止するため原因を特定できた大ホール外壁、リハーサル室等 7 か所の止水工事を行った。 ・修繕料 5,177,520 円

事業名等	事業費	内容と成果
12 市民会館大ホール空調 修繕 (公民館)	2,160,000 円	市民会館大ホール空調機の故障箇所を修繕し、夏季に向けて施設環境の向上を図った。 ・修繕料 2,160,000 円
13 市民会館立体駐車場消 火器購入 (公民館)	2,592,000 円	市民会館立体駐車場に設置されている消火器は、収納箱の破損及び製造後 10 年を経過しているため、買換えを行った。粉末消火器 18 本、格納箱 18 個、移動式粉末消火設備 18 台 ・備品購入費 2,592,000 円
14 市民会館非構造部材調 査委託 (公民館)	553,932 円	災害発生時における、利用者の安全確保及び帰宅困難者の一時滞在施設としての機能確保のため、市民会館の非構造部材である天井等の落下防止対策に関する調査を行った。 ・非構造部材調査委託料 553,932 円
15 公民館調理室調理台等 改良工事 (公民館)	4,860,000 円	老朽化した公民館調理室の講師用 1 台、利用者用 4 台の調理台を入れ替え、改良工事を行った。利用者用は車椅子利用者も使いやすい障害者対応型とした。 ・工事請負費 4,860,000 円
16 中央図書館公用車購入 (図書館)	2,061,930 円	平成 8 年 5 月に購入した中央図書館公用車の買換えを行った。
17 さくら会館内事務所移 転 (公民館)	3,199,770 円	さくら会館内の公民館事務所を移転し、利用者の利便性を高めた。 ・備品購入費 884,196 円 ・移転委託料 548,694 円 ・工事請負費 1,766,880 円
18 わかたけ会館備品購入 (図書館)	1,408,719 円	リニューアルオープンに合わせて、会館及び図書館の管理運営上必要な備品を配備するとともに、老朽化した備品の更新を行った。 ・会議用テーブル 20 台 918,000 円 ・ブックトラック 2 台 111,672 円 ・館内サイン 1 枚 86,400 円 ・レースカーテン 6 枚 83,397 円 ・ホワイトボードほか 209,250 円
19 わかたけ会館改良事業 (図書館)	210,623,490 円	平成 25 年度の設計委託に基づき、内外装、屋上防水及び空調設備の改修、図書館の増築並びにバリアフリー及び地球温暖化対策に配慮した改修を実施した。 ・職員旅費 47,770 円 ・消耗品費 20,000 円 ・監理委託料 7,818,120 円 ・備品等移転委託料 1,287,360 円 ・工事請負費 201,450,240 円
20 古民家保存事業 (生涯学習推進課)	226,528,103 円	旧ヤマジウ田村家住宅の用地買収及びその後の維持管理（警備委託、庭木剪定等管理委託、自動火災報知設備設置工事等）を行った。
21 プチギャラリー空調設 備改良事業 (生涯学習推進課)	1,490,400 円	プチギャラリーの空調設備が老朽化し不具合が生じたため、改良工事に向けての設計委託を実施した。 ・実施期間 平成 26 年 6 月 18 日から平成 26 年 10 月 31 日まで ・契約金額 1,490,400 円

事業名等	事業費	内容と成果
22 ブラインドサッカーファンフェスタ開催事業 (スポーツ推進課)	996,840 円	ブラインドサッカー関東リーグの開催及びイベントを行い、観戦、疑似体験などを通じて障害者スポーツの推進を行った。また、福生ドッグやたっけー☆☆を活用し、地域活性化に資する事業として行った。 ・実施日 平成 26 年 12 月 14 日 ・参加者及び観戦者数 500 人
23 新都市連絡協議会におけるスポーツ交流事業 (スポーツ推進課)	263,520 円	平成 26 年度より新都市連絡協議会を組織する北海道登別市、滋賀県守山市及び東京都福生市の子どもたちが、スポーツの交流大会を通して互いに友好を深めることにより、将来にわたり協力してまちづくりを推進しようとする心情を育てることを目的に実施した。 ・実施期間 平成 26 年 8 月 1 日から平成 26 年 8 月 3 日まで ・参加者数 25 人 (コーチ、監督等含む。)
24 市営プールシェルター修繕 (スポーツ推進課)	1,458,000 円	平成 27 年 2 月の大雪による市営プールシェルターの破損に伴い、修繕を行った。 ・修繕料 1,458,000 円
25 市営プールろ過装置修繕 (スポーツ推進課)	1,220,400 円	市営プールろ過装置 (50m プール) の老朽化に伴い、修繕を行った。 ・修繕料 1,220,400 円
26 市営プールプールサイド修繕 (スポーツ推進課)	1,058,400 円	市営プールプールサイド (変形プール) の老朽化に伴い、特に危険な部分の修繕を行った。 ・修繕料 1,058,400 円
27 屋外体育施設備品購入 (スポーツ推進課)	469,800 円	屋外体育施設の老朽化した備品を買い換えた。 ・市営競技場 サッカーゴール 1 組 469,800 円
28 体育館 (中央、地域体育館) 非構造部材調査委託 (スポーツ推進課)	1,930,068 円	災害発生時における、利用者の安全確保及び避難所としての機能確保のため、体育館の非構造部材である天井等の落下防止対策に関する調査を行った。 ・調査場所 中央体育館、熊川地域体育館及び福生地域体育館
29 中央体育館電灯分電盤改修工事 (スポーツ推進課)	1,263,600 円	中央体育館電灯分電盤の老朽化に伴い、分電盤 L - 1 盤及び L - 2 盤の交換改修工事を行った。 ・工事請負費 1,263,600 円
30 中央体育館主競技場仕切りネット改良工事 (スポーツ推進課)	874,800 円	中央体育館主競技場センター仕切りネットの老朽化に伴い、ネットの改良工事を行った。 ・工事請負費 874,800 円
31 福生地域体育館高圧受電用区分開閉器修繕 (スポーツ推進課)	972,000 円	福生地域体育館高圧受電用区分開閉器の老朽化に伴い、開閉器の交換修繕を行った。 ・修繕料 972,000 円

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 レセプト点検委託（柔道整復師等療養費） （保険年金課）	1,476,375 円	柔道整復師等の療養費に対するレセプトの内容点検を行い、過大請求の抑制など医療費の適正化を図った。 ・点検件数 1,224 件 ・削減効果額 2,373,687 円
2 国民健康保険だより発行 （保険年金課）	343,224 円	国民健康保険制度の内容を市民に広く周知するために国民健康保険に特化した広報紙「国民健康保険だより」を作成し、市内全戸配布を行った。 ・印刷製本費 150,984 円 ・配布委託料 192,240 円
3 一般被保険者療養給付費 （保険年金課）	3,607,772,922 円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者 1 人当たり費用額 270,986 円 ・一般被保険者 1 人当たり保険者負担額 198,023 円 ・一般被保険者 1 人当たり年間受診件数 14.24 件 ・1 件当たり費用額 19,035 円
4 退職被保険者等療養給付費 （保険年金課）	226,452,889 円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等 1 人当たり費用額 360,514 円 ・退職被保険者等 1 人当たり保険者負担額 252,175 円 ・退職被保険者等 1 人当たり年間受診件数 18.24 件 ・1 件当たり費用額 19,763 円
5 一般被保険者療養費 （保険年金課）	53,662,181 円	療養の給付を行うことが困難であると認めたとき、若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めたとき、又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 3,889 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 2,945 円 ・支給件数 7,914 件 ・1 件当たり保険者負担額 6,781 円
6 退職被保険者等療養費 （保険年金課）	2,837,041 円	療養の給付を行うことが困難であると認めたとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めたとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 4,496 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 3,159 円 ・支給件数 424 件 ・1 件当たり保険者負担額 6,691 円
7 一般被保険者高額療養費 （保険年金課）	435,675,368 円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が自己負担限度額を超えた場合に支給した。 ・支給件数 7,440 件 ・1 件当たり保険者負担額 58,559 円
8 退職被保険者等高額療養費 （保険年金課）	31,782,898 円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が自己負担限度額を超えた場合に支給した。 ・支給件数 308 件 ・1 件当たり保険者負担額 103,191 円
9 出産育児一時金	43,514,000 円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。 ・支給件数 104 件

事業名等	事業費	内容と成果
(保険年金課)		<ul style="list-style-type: none"> ・1件当たり支給額 390,000円 5件(平成26年12月31日まで) 404,000円 1件(平成27年1月1日から) 420,000円 98件(産科医療補償制度に加入している場合)
10 葬祭費 (保険年金課)	5,450,000円	<p>被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 109件 ・1件当たり支給額 50,000円
11 結核・精神医療給付金 (保険年金課)	5,199,279円	<p>被保険者が「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に自己負担額(高額療養費を含む。)を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 4,600件 ・1件当たり支給額 1,130円
12 後期高齢者支援金等 (保険年金課)	1,020,089,544円	<p>後期高齢者医療制度の被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、支援金及び事務費を拠出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者支援金 1,020,017,461円 ・事務費拠出金 72,083円
13 介護給付費納付金 (保険年金課)	436,754,104円	<p>介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳以下の第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。</p> <p>63,270円×7,060人=9,932,096円(平成24年度精算分)</p>
14 共同事業拠出金 (保険年金課)	788,339,147円	<p>国民健康保険の財政の安定化を図るため、保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業に要する費用を国民健康保険団体連合会に納めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額医療費共同事業拠出金 177,439,863円 ・保険財政共同安定化事業拠出金 610,898,041円 ・その他共同事業事務費拠出金 1,243円
15 特定健康診査・特定保健指導事業 (健康課)	52,452,804円	<p>平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査・特定保健指導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査 対象者 11,078人 受診者 5,207人 受診率 47.0% ・特定保健指導 対象者 629人 積極的支援参加者 18人 動機づけ支援参加者 72人 実施率 14.3%
16 ジェネリック医薬品 (後発医薬品)差額 通知事業 (保険年金課)	274,047円	<p>医療行為等を受けた被保険者にジェネリック医薬品と先発医薬品との差額を通知することにより、薬価の節減効果を周知し、ジェネリック医薬品の使用を広く普及させ、療養給付費等の歳出削減につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知書送付(3回) 3,452人 ・後発医薬品利用率 38.6% ・削減効果額 5,052,410円
17 高額療養費資金貸付 (保険年金課)	13,400,788円	<p>被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付件数 59件 ・貸付金額 13,400,788円 ・費用額 50,352,309円

3 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護保険システム使用料 (介護福祉課)	3,333,312 円	介護保険システムを使用することにより、介護保険事務の効率化を図った。
2 認定審査会委員報酬 (介護福祉課)	5,946,000 円	任命された認定審査会委員により、要介護状態区分判定を行った。
3 認定調査嘱託員報酬 (介護福祉課)	5,178,000 円	要介護状態区分判定のため、要介護認定調査嘱託員による訪問調査を行った。
4 主治医意見書作成料 (介護福祉課)	8,590,320 円	要介護状態区分判定のため、主治医に意見書の作成を依頼した。
5 要介護認定調査委託料 (介護福祉課)	1,568,160 円	市外等の認定調査については、当該地の指定居宅介護支援事業者に訪問調査を委託した。
6 介護サービス等給付費 (介護福祉課)	3,029,766,526 円	要介護認定（要介護度1から5まで）を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
7 介護予防サービス等給付費 (介護福祉課)	110,887,076 円	要支援認定（要支援度1及び2）を受けた被保険者に対して、介護予防サービスを給付した。
8 審査支払手数料 (介護福祉課)	2,990,897 円	介護給付費及び公費負担等に関する審査並びに支払事務を、東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
9 高額介護サービス費 (介護福祉課)	71,578,256 円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護サービス費を支給した。
10 高額介護予防サービス費 (介護福祉課)	27,934 円	要支援認定を受けて介護予防サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護予防サービス費を支給した。
11 高額医療合算介護サービス費 (介護福祉課)	11,684,370 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護サービス費を支給した。
12 高額医療合算介護予防サービス費 (介護福祉課)	82,526 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護予防サービス費を支給した。
13 特定入所者介護サービス費 (介護福祉課)	140,424,410 円	低所得者の要介護者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所者介護サービス費を支給した。

事業名等	事業費	内容と成果
14 特定入所者介護予防サービス費 (介護福祉課)	9,460 円	低所得者の要支援者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所者介護予防サービス費を支給した。
15 認知症予防事業 (介護福祉課)	3,089,504 円	<p>65歳以上の高齢者で介護保険要介護認定の「要介護」「要支援」に該当しない方で、医師から運動制限を受けていない方を対象とし、一次予防事業対象者は広報等での案内、二次予防事業対象者は、基本チェックリスト等をもとに、対象者を限定して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次予防事業対象者延参加者 53 人（3クール実施） 一次予防事業費 1,910,304 円 ・二次予防事業対象者延参加者 25 人（2クール実施） 二次予防事業費 1,179,200 円

4 後期高齢者医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 広域連合納付金 (保険年金課)	970,337,695 円	<p>後期高齢者医療の事務は、都内区市町村で構成する東京都後期高齢者医療広域連合が、保険料の徴収事務及び健康増進事業以外の事業を執行しており、その事業に必要な負担金を納めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養給付費負担金 367,940,089 円 ・保険料等負担金 463,792,350 円 ・保険基盤安定負担金 88,809,092 円 ・事務費負担金 17,047,118 円 ・保険料軽減措置負担金 32,749,046 円
2 保健事業 (保険年金課)	26,016,684 円	<p>後期高齢者の健康増進を図ることを目的に、健康診査や近隣の温泉施設の利用助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診査費 25,461,569 円 ・健康増進費 555,115 円
3 葬祭費 (保険年金課)	17,650,000 円	<p>被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 353 件 ・1件当たり支給額 50,000 円

5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 下水道長寿命化計画事業 (施設課)	79,406,364 円	平成 25年度に策定した福生市公共下水道長寿命化基本計画に則し、第 1 期調査エリアのカメラ調査及びマンホール等調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・汚水管調査工 φ200～800 28,697.70m ・汚水管清掃工 φ200～800 28,558.34m ・取付管調査工 3,668 か所 ・マンホール目視調査工 1,069 か所 ・報告書 1 式
2 下水道総合地震対策計画及び下水道事業継続計画策定 (施設課)	15,461,280 円	下水道総合地震対策計画事業に伴う福生市内の地盤調査を行い、液状化被害の発生しやすいエリアの選定を行った。また、福生市において大規模地震等により下水道施設が被災した場合でも下水道が果たすべき機能を維持及び回復することを目的とした福生市下水道 B C P 策定を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・福生市地盤調査委託 14,256,000 円 ・下水道 B C P 策定委託 1,205,280 円
3 管渠新設改良事業 (施設課)	174,819,850 円	下水道事業における事業認可公共下水道の整備及び市内の冠水がみられる箇所について雨水管等の敷設の設計及び工事を実施した。 (汚水) <ul style="list-style-type: none"> ・志茂 142～175 番地先 設計委託料 1,888,063 円 工事請負費 13,124,501 円 ・福生 253 番地先 設計委託料 1,982,796 円 工事請負費 9,852,931 円 (雨水) <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野台一丁目 4 番地先 工事請負費 45,628,437 円 ・志茂 142～175 番地先 設計委託料 3,079,937 円 工事請負費 21,409,579 円 ・福生 253 番地先 設計委託料 6,657,204 円 工事請負費 33,079,229 円 ・福生 2226 番地先 設計委託料 2,646,000 円 工事請負費 9,936,000 円 ・福生 686 番地先 設計委託料 280,800 円 工事請負費 7,225,200 円 ・熊川 1603 番地先 設計委託料 9,828,000 円 ・本町 58 番地先 設計委託料 2,754,000 円 ・福生 963 番地先 設計委託料 2,808,000 円 (地下埋設調査) 委託料 2,639,173 円

